

市民しんぶん(区版)に
挟み込んで、年に7回
配布しています!



京都市会だより

第149号

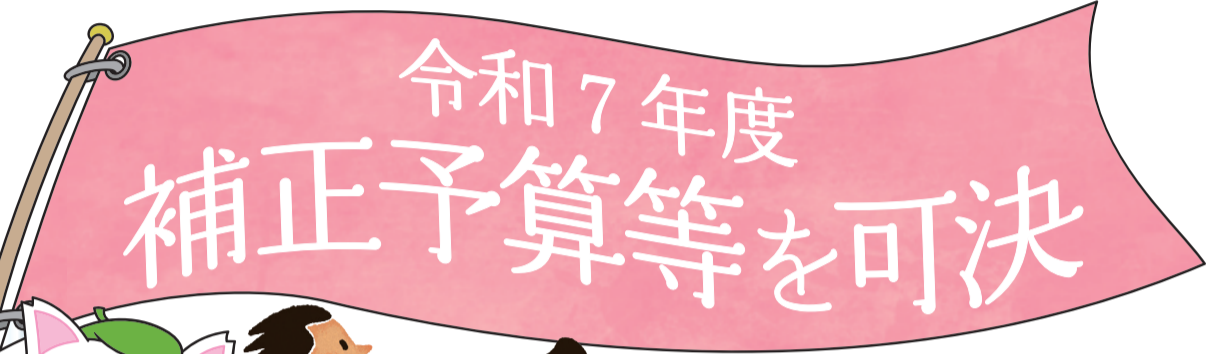


Facebook follow me! 京都市会 YouTubeチャンネル 京都市会 検索

令和8年(2026年)4月15日発行

KYOTO CITY ASSEMBLY

2月
市会(前半)
の報告



国の「強い経済」を実現する総合経済対策の財源等を活用し、市民生活・事業者の下支え、市民の安心・安全につながる防災減災・老朽化対策等の推進、京都市立病院の経営支援などに係る総額390億6,200万円の補正予算等を可決しました。ここでは、議論の一部をご紹介します。

市民生活・事業者の下支え

【18億4,100万円】

議論の一部



賃上げ環境整備支援事業

●生産性の向上が困難な業種があることも踏まえ、直接的な賃上げ支援を行うことが必要。

中小企業ひと・しごと環境魅力向上支援事業

●働きやすい就労環境を整備し、人材の定着につなげる必要がある。

商店街等デジタル地域ポイント活用促進事業

●デジタル地域ポイントの周知を行うことを補助要件に加えるべき。

福祉施設・子育て施設等における運営費等に対する支援

●今回の補正予算で支援しきれない場合は、令和8年度予算において本市単独での予算措置を検討する必要があるのではないか。

子ども銭湯応援事業

●本事業を幅広く周知するとともに、事業継承に向けて銭湯と若い担い手とのマッチングを支援する必要がある。

市民の安心・安全につながる防災減災・老朽化対策等の推進

【124億9,800万円】

議論の一部



避難生活環境の向上

●避難所運営の実効性を高めるため、実際に宿泊する体験型訓練を行ってはどうか。

鉄道施設の利用環境整備の推進

●観光客なども利用する地域鉄道の利用環境整備を国や京都府、事業者とも連携して行うことが必要。

道路、橋りょう、河川等の防災・減災対策等

●公園予算の抜本的な拡充に向けて、国に働きかける必要がある。

学校施設の長寿命化・安全対策等

●学校施設の長寿命化対策や空調設備更新は、脱炭素化につながるよう行う必要がある。

中央卸売市場第一市場施設再整備事業

●事業費の圧縮に向けた取組状況及びコスト意識を徹底することが必要。

京都市立病院の経営支援

【39億3,300万円】

議論の一部



●市立病院への支援額の今後の想定は。

●コンサルタント任せにせず、本市が主体となって、公的な医療機関としての役割や機能の拡充に向けた検討を進める必要がある。

主な代表質疑を2・3面で紹介します!

2月25日、26日の本会議で16名の議員が代表質疑を行いました!



代表質疑とは?

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、提出された翌年度の当初予算議案を中心に質疑を行うものです。

令和8年度予算などを審議した2月市会後半の結果については、次号(5月15日発行)で紹介します。